

北海道民放クラブだより

「平成三十一年新年懇親会」

1月23日(水)恒例の北海道民放くらぶ新年懇親会を札幌ガーデンパレスで行いました。32名の会員のご参加をいただき、お互いの無事を喜び合いました。司会を理事の井上さんにお願ひしました。初めに長沼会長が新年の挨拶をしました。

「皆様明けましておめでとうございます。今年は静かなお正月であったようですが、とても寒い日が続いています。

私事ですが、昨年11月末に、庭の冬囲いをして冷えた体で風呂に入ってヒートショックで動けなくなり、ようやく風呂から這い出て事なきを得ました。



新年の挨拶をする長沼会長

皆様、くれぐれもお風呂に入る時はお気を付けてください。

さて、私は会長に就任してまもなく2年になります。何もわからず、すべてお任せでやってきましたが、ここに来て長谷川事務局長といろいろと当会の課題について相談をしています。

この会の活動の中心は各同好会の活動にあることは言うまでもありません。しかし一方では会員の高齢化と減少、そしてそれによる予算の縮小という大きな問題を抱えています。

また関連して事務所の在り方や若い方の入会などに積極的に取り組まなければなりません。

かつては平松さんなどを中心に長いこと強力な指導力でこの会を引っ張っていただきました。

しかし、2年前に理事長職を廃止し、現在は事務局長ということに対応していますが、課題は多く、問題解決が難しいのが実情です。

そこで、2年前に改正した規約をまた改正することになりますが、理事長職の復活とそれを支える常務理事を配置して執行部を強化し、

グループ体制で問題解決にあたるべきと考え、強引ではあります。昨年12月の理事会で私の考えをお話してご承認をいただきました。もちろん規約の改正や人事の承認を伴いますので、正式には4月か5月の総会に諮らなければなりません。

でも、総会を経た後に決めるのではなく、やはり実施が一年延びてしまいます。

そこで、やや強引ですがこれから申し上げる方に次期はもちろん執行部候補として準備委員会(実行委員会)を作ってください、そこで規約の改正や理事などの人事、また予算などの検討していただき、理事会及び総会に諮るための準備をしていただくようお願いいたします。

次期執行部候補として理事長には北島寿一さん、また常務理事には事務局長兼務で長谷川一郎さん、常務理事に内田昭憲さん、そして佐々木純さんをお願いしました。

どうぞご理解ご協力をお願いいたします。最後になりましたが、今年も皆さんお元気で北海道民放クラブの活動にご参加いただけるようお願いいたします。

い申し上げご挨拶いたします。続いて、昨年物故された8名の会員の方へ黙祷し、和田前会長の乾杯で懇親に入りました。時の経つのも忘れ、料理をつまみ、おいしいアルコールで時の話題に花を咲かせました。

亥年生れの会員を代表して越野さんが感慨を述べました。

締め乾杯は菅原知子さん、来年の元気な再会を呼び掛けました。



カメラ会の作品ボード

また、カメラ会の作品ボードも会場に飾られ、花を添えました。

なお、作品の全てが北海道民放クラブのホームページに掲載されています。ご高覧ください。